

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年6月16日(金)
午後2時37分から午後2時51分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 井上真砂美 (副委員長) 伊藤隆信
(委員) 片岡健一郎、鬼頭博和、堀江珠恵、日比野走、榎谷規子
欠席委員 なし
- 5 事務局出席 議会議務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

井上委員長：前回、調査したいこととして、子ども食堂、統合保育園、補聴器などが挙がっていた。候補地を募ったところ、7つあり、資料にまとめてある。

日程は10月16日の週でよろしいか。

委員：はい。

井上委員長：視察先の説明を、提案者に30秒以内でお願いしたい。

片岡委員：①福岡県糸島市について。今後岩倉市でも保育園を統合する計画があり、それを踏まえて、民営化を進めるかどうかの判断材料としたい。保育の広域利用、企業主導の保育なども行っている。

井上委員長：特に質問は受け付けないが、各自ネット等で調べてもらいたい。

鬼頭委員：②北九州市については、平成28年度から2年間公設民営による子ども食堂のモデル事業を実施しており、先進的な取り組みをしている。

井上委員長：詳細は鬼頭議員提出資料を配布したので参考にしてほしい。

鬼頭委員：③東京都板橋区の公立中学校内子ども食堂について。学校内で放課後に夕食を提供している。

堀江委員：④京都市立洛風中学校と⑤岐阜市立草潤中学校の各学校での不登校対策について。現在、岩倉市では学校に戻すという目的で支援をしているが、

④⑤はそれだけではなく、不登校児を集めて学校で過ごすということを公立の学校で取り組んでいる。

井上委員長：ここは中学校への視察ということか。

堀江委員：そうなる。⑤岐阜市のほうは説明会もあるようだ。

井上委員長：⑥千葉県鎌ケ谷市は、すべての放課後児童クラブの運営を民間に委託している。体験教室の実施、おやつを提供、専用の登下校出欠管理システムの導入など、業務の効率化やサービスの向上を図っている。

片岡委員：⑦神奈川県大和市は、堀江委員の提案と同じと思われるが、不登校の

生徒の復帰を目指さず、学校内に別の学校を作り、戻らなくてもいいんだよと、不登校特例校分教室の取り組みを行っている。

井上委員長：①②は九州、③⑥⑦は関東、④⑤⑦は内容が似ているということである。③⑥⑦の方面が④⑤を含めていいかと思うが、意見はあるか。

井上委員長：梶谷委員の補聴器関係が入っていないが。

梶谷委員：調べきれなかった。

井上委員長：関東方面で補聴器関係があれば、これから調べてもいい。

③⑥⑦を候補地としてもいいか。

各委員：はい。

井上委員長：今後変更の可能性もあるが、視察先を③⑥⑦とする。具体的に調査し、6月20日の閉会日に再度集まっていただく。

片岡委員：これから視察可能かどうか調べると思うが、20日までには難しいのでは。

事務局：常任委員会の行政調査はあくまで自治体に行くのであるから、NPO法人や学校は自治体視察とは少し異なる。

井上委員長：事務局と正副委員長で確認し、条件がそろったところで協議会を開催する。関東方面でほかに調査したいところがあれば、早急に提案してほしい。

(2) その他

特になし。

8 その他

特になし。